



		日時	内容	会場
6月	10 (土)	11 時～	おはなし会 (まほうの箱)	♥
		14 時～	おはなし会 (赤ずきん)	♥
		14 時～	映画上映「理想の結婚」(98分) (土曜シアター)	★
	13 (火)	11 時～	乳幼児向けおはなし会 (麦のこ)	♥
	17 (土)	14 時～	ブラックパネルシアター (なのはな教室)	★
	24 (土)	14 時～	おはなし会 (やまびこ会)	♥
		14時30分～15時30分	認知症カフェ図書館 (脳の若さを保つために！ファイブ・コグ検査)	○
25 (日)	10 時～	おもちゃの修理 (おもちゃ病院) ※受付 14 時まで	○	
	14 時～	おはなし会 (図書館職員)	♥	
7月	2 (日)	10 時～12 時	大人のための切り絵講座 (事前申込制)	○
	8 (土)	14 時～	おはなし会 (赤ずきん)	♥
		14 時～	映画上映「夏の庭 The Friends」(113分) (土曜シアター)	★
	11 (火)	11 時～	乳幼児向けおはなし会 (麦のこ)	♥
	16 (日)	14 時～	おはなし会 (れろの会)	♥
	22 (土)	14時30分～15時30分	認知症カフェ図書館 (小学生認知症サポーター養成講座)	○
	23 (日)	10 時～	おもちゃの修理 (おもちゃ病院) ※受付 14 時まで	○
14 時～		おはなし会 (図書館職員)	♥	
24 (月)	10 時～	夏のわくわく♪としょかん教室 (事前申込制) ※休館日	図書館内	

※ ★…コミュニティ小ホール ♥…図書館おはなしコーナー ○…図書館 2 階会議室

図書館カレンダー・おしらせ

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

太字は 17 時閉館、■ はお休み
○ は行事のある日です

展示コーナー

〈一般展示〉「カラダ★元気！」 ～7月25日 (火)
病気を予防する本や食育の本、心身を鍛える本など、
心も体も元気になるものを集めました！

〈児童展示〉「行ってみよう！宇宙の旅」 ～7月25日 (火)
誰もが宇宙旅行を楽しめる未来がやってくる！宇宙旅行に
むけて宇宙について調べよう。

持ち込み学習について

持ち込み学習は、学習コーナーでのみ行うことができます。
(全16席・要申込)
マナーを守り、気持ちよく利用できるよう、
みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。





6月号のテーマ

「おと音」

毎月、司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。

雨の音を聞きながら、室内で読書はいかがですか？

※（ ）は司書のペンネームです。



「はじめてのてんきえほん」

武田康男：監修 K451ハ

今日や明日の天気を知るには、天気予報を見るのもいいが、空に浮かんだ雲を見るとわかる。

また、外を見なくても、家の中で耳をすませると聞えてくるザーザー、ビュービュー、ゴロゴロ…。

天気にはいろいろな音があって面白い。

(ダック)

「それっ!日本語で言えばいいのに!!

あなたはこんな風に思っていないですか?」

カタカナ語研究会議：監修 814.7カ

響きが格好良くて、わざわざカタカナ語で言うてしまうことってありますよね。でも、案外間違っ使っていたり、意味が解らず聞き流したりってことも多いはず。

本書は間違っカタカナ語を使っているシチュエーション(状況)を再現したイラストと、本来の意味の解説、正しい使い方が紹介されています。

言い間違いの再現に笑えたり、なるほど!と気付かされたり、読んで楽しい一冊です。(kn²)

「真夜中のまほう」

フィリス・アークル：文 K933ア

『マガモのおやど』という宿屋の看板に描かれているマガモは、真夜中の12時の鐘が鳴るとき、看板の中から外に抜け出せることを知ります。夜が明けるまでは、自由に動きまわれるという魔法です。他の看板からも動物たちは抜け出し、『マガモのおやど』に隠された宝を狙う泥棒を退治します。その作戦とは?動物たちが知恵をだしあい協力する姿が楽しい児童書です。

(モコ)

「調律師」

熊谷達也：著 Fク

生ゴミの臭気から桃の香りへ…

ピアノの音を聞くと「香り」を感じる鳴瀬は、その「共感覚」を上手く利用しながら調律師として活躍している。その体質になったのにはあるきっかけがあった。

主人公が、いろいろな問題を抱えた人々やピアノに触れながらも、自らの体質の原因に向き合おうとする葛藤を描いた作品。(ペコ)

「音に出会った日」

ジョー・ミルン：著 936ミ

生後16ヶ月で全聾と診断。29歳で視覚をも失う難病と判明。人工内耳の移植手術を受け39歳で生まれて始めて「音」を聞いた、イギリス人女性の感動ノンフィクション。

“障害の全てが車イスのように目に見える障害だけではない” 健常者はその存在を見落としがちかもしれせん。

視覚障害、聴覚障害の方々の日常や、感情の理解にも繋がる1冊です。(ヴィッツ)

「えっ?これって方言なの!?マンガで気づく

日本人でも知らない日本語」

篠崎晃一：監修 818シ

箒ではわく、お金をこまめる、物をなおす。これらは、九州、福岡、西日本の方言です。普段何気なく使っている言葉の中には、実は方言がたくさんあります。標準語だと思っていた言葉が地域特有の方言だったり…、おもしろいものです。

本書では、全国の方言の一部が紹介されています。

(茶白)